

# 還暦女子の生態 第5話



いもねえさん

## 末の子の部屋探し

---

大学進学のために、末子は部屋探しと合格者説明会をかねて上京した。

付き添いは都内に暮らす長女だ。

私は、長女の部屋探しの時には一緒に上京した。

しかし、続く長男、次男、そして今回の息子の部屋探しはすべて長女が付き添った。

しかも、私は彼らの暮らす部屋を一度も訪ねたことはない。

長女と、今回上京した息子とは、年が11歳離れている。

彼が小学校2年生の時に、長女は大学進学のために家を離れた。

彼にとっては、親戚のオバサンのような存在だろうな。

それでも、長女は本当によくやってくれる。

長女なくしては今の私に部屋探しなど無理というものだ。

私自身は母と干支が同じで、母が24歳の時に生まれた。

だから、私が進学で地元を離れた時、母は42歳ぐらいだったんだなー。若っ！

しかも、大正生まれの母はキャリアウーマンだった。

42歳の母はヒールのある靴で、カツ、カツと歩く。

私は早足でついて行った。

初めて乗る急行列車だった。何か、母、カッコイイ、、、と思った。

駅で切符を買うにも、すべてが手馴れた感じで事は進んだ。

不動産屋を訪ね、ルームメイトの先輩のいる部屋に決まった。

駅地下のレストランで、コーヒーつきの高そうなのを食べさせてくれて、私を残して母は帰っていった。

がんばりんさいね、と。母は、涙ぐんでいた。

私は、涙がぼろぼろこぼれる中、これから暮らす部屋に向かった。

というわけで、息子の部屋探しは長女に頼んだ。

いかにもその仕事は私の役目という感じで、いいよー、と。

もう私には部屋を探してまわる気力も体力もない。

それに、息子も私にはイライラするだろう。息子とは、歩く速度も歩幅も違う。

お金を出すのは私なのに、息子に怒られては、バカみたいだし。

息子たちは、だれ一人として長女には頭があがらない。

長女よ、よろしくお願いしますね。会計系の母より。

## 還暦の私、保証人として現役！

---

息子の部屋が決まると、さっきケータイに連絡がきた。

不動産屋から電話をしてきた。

長女の夫と、こんな還暦の母が保証人になることになった。

私、まだ、保証人として現役なんだー。

こんなにヘボヘボなのに。。。

私の身分証明書をFAXで送ってくれと。運転免許証でいいという。

こんな僻地でも、パソコンのプリンターにはコピー機能がついているので、コピーができる。

そして、電話にはFAXもついている。数分で終了だ。

なかなか、先端をいってるなー。

不動産屋のオヤジは、もしかしたら、何日か、かかるかもしれないと思っていたかもねー。

今日はパンの注文が多くて、朝8時から5時間、立ちっ放しだった。

今日の夕食は一人なので、自分で焼いたパンを買って帰った。これが夕食だ。

クタクタ。。。

もう、今日はこれ以上は頭は回転しないぞ！

あとは読書タイム。

とことんだらしめない生活をするぞーっ。気楽でいいなー。

訪問入浴のところから電話が来た。来年はどうしますか、ということのようだ。

もう辞めて下さい、ということなのかなあ。。。。

こういう疲れた日の電話はこたえるなあ。。。自信ないなあ。。。。辞めようかなあ。。。

## ピーピーやかん

---

昔、実家ではピーピーやかんを使っていた。

私は、引越しが多かったので、ずっと、やかんは持たず、片手鍋でお湯を沸かしていた。

私は、何も感じなかったが、もしかしたら、遊びに来た友人は、片手鍋からコーヒーカップに入れるのを???と思っていたかもね。

それでも、家族がふえはじめると、やっぱりやかんを買った。

暮らしの手帳かなんかで紹介されていた、バケツ型で、フタが大きくて、持ち手が動かないかわりに、

持ち手で、自然とフタが押さえられる、というものを、

コレだ！と東急ハンズで買った。

しばらく愛用していたが、持ち手が動かないのが逆に不便で、

上京した時に、なんとも形のとぼけた、あんまり見かけない形のピーピーやかんを買った。

その時は、ピーピー部分だけがイヤだったのだが。。。

その後、やはりピーピーやかんは、必要だった。

何しろ、私は家の中でも走りまわっているほど忙しい生活。

お湯が沸いたのを知らせてくれるやかんは、必要不可欠のものだった。

だが、もう15年以上使って、みがいてもダメ。

粗品でもらったホーローのやかんを使ってみたが、ピーピー鳴らないので、カラ炊き寸前が2回！  
かといって、どんなピーピーやかんでもいいとはいかない。

オシャレな、あの、とぼけた形。難点は、注ぎ口なんだなー。パイプをスパッと切ったような、

、、、

笛部分がフタになるから、仕方ないのかなー。

いつも沸いているような電気湯沸しはキライだ。

ポットというものの存在自体が気持ちが悪い。

みんな、あの中、見たことある？

不安定な身分って、こんなにも大変！

---

息子の部屋の保証人にはなったものの、その審査ときたらそれはもう、ビクビクものだった。これまでの子の時は、私が正規の仕事をしていた。なんとということもなくスムーズに事は流れ、審査などというものは考えたこともなかった。

無職になってすぐ、東横インでカードを作ることを勧められ、その場で写真まで撮った。でも、しばらくすると、残念ですが、、、、と無職であることでカードのことはご破算になってしまった。

今は無職ではないが、パート、及び年金を3度受け取った。審査会社から、2度、不動産屋さんからも1度電話がかかり、パート収入と年金の額、ローンはありますか、と記入したことを聞かれ、パート収入は、、年金は、、お母様の生活もありますよね、、と、パチパチと電卓をたたく音も聞こえた。その数値では、授業料プラス&にしかない。家賃が払える余裕がおありですか、、この件については、義理の息子さんは承知しておられますか、、、、そちらに確認の電話を入れさせていただきますが、よろしいですか、、だんだんと、ショボンとしてくる。

そうか、それで定年退職後も囑託にしがみつくなのかあ、今頃になって納得した。退職を心待ちにしていた職場に退職後もしがみつくな、そんな人生の何が面白いんだろうと思っていたが、肩書きと所属かあ。

あー、こんなの初めてだ。。。天気も悪くユーウツ。これでダメだったら、がんばった息子がかわいそう。。。でも、これも彼の運命だ。不安定な身分って、キツイなー、つくづくそう思った。要は、私が還暦でこれからの収入がみこめない、そこが問題なんだな。

こんなの、ホント初めて。いかに、安定した身分にどっぷりつかっていたかだね。いや、私は仕事を辞めるとか辞めないとか、考えるヒマもない生活だったんだよ。生きるってしんどいね。

千葉ってなかなかいいじゃん。

---

またまた息子の部屋の話。

なんと千葉って礼金ないんだー、敷金も1ヶ月。しかも家賃は33000円！6畳の1K。最初の払い込みは合計20万を大きく割る、こんな嬉しい事はない。何食べよっか。これまでの子供で一番安い。

いやもっと安かったのは寮にはいった息子だったな。

自転車通学が多いなんていいなー。

私も学生時代は自転車だった。俗にはドッテンシャと言っていた。

男も女も学生は長髪にドッテンシャ！の時代。地方だけだね。

かつて世田谷に暮らしていた時、家賃15万、敷金3、礼金3というとんでもない物件のマンションにいたことがある。

入居時には100万を超えた。くら〜っときた。幼児3人がいた生活。保育園と職場に近いところを選んだ。

そこを引越した時には、敷金がいくらもどってくるのか楽しみだった。

が、しかし、分厚い数々の領収書とともに、リフォームの追加料金がきてしまった。

あの頃どうやって生活してたんだろー。貯金ないのに車2台あったよ。ローンのね。

狂ってたなー、バブルの頃だよ。

でも、マンション買わなくて、それは正解だった。頭金もなかったしね。

知人がマンションを買うのをながめながら、買えそうな気もしないではなかったけど。

まだその頃のローンを払い続けている人はいるらしい。

時代を読むのって難しい。

人間の死亡率は**100%**です。。。

---

クヨクヨすることないです。人間の死亡率は100%です。

この有名な言葉の綾小路きみまろさん、私と同じ1950年生まれの方。  
同じ時代を生きてきたからか、時々、いやいつもクスツとするね。

近い方が亡くなりました。

お年を召した方で、突然のことだった。

その訃報を聞いて、シアワセだった、よかったよね、と言ったのは不謹慎すぎたでしょうか。  
身寄りもなかった方と聞いた。

母は、2度目の脳腫瘍の手術をして1か月後、父と花見に行つての帰り、気分が悪くなり脳内に大量の出血をして

植物状態のまま2ヵ月後に亡くなった。

父はその2年後、膀胱ガンになり、手術の後、半年で骨転移し亡くなった。

今更言ってもしかたのないこと。

でも、痛い苦しい思いをして手術をしたことがよかったのだろうか。。。

両親共に、延命治療はしないでほしいと立会人の印と共に文書にしていた。

そうそう簡単に病院側に受け入れられた訳ではないが、結局はその方針でいくことになった。

私は人間ドッグもこれまで1回だけ。それも50歳の節目で無料だったから。

2次検診にひっかかった。さらに3次検診を受けるようにと。

考えておきます、と言って予約はしなかった。受ける気はなかった。

以来人間ドッグは受けないことにした。

末子が成人するまでは、生きていたいと思うが、、、

でも。。。。

どういう生き方をするか、どういう死に方をするか、自分で考えさせてくれてもいいよね。

ついていけない話題。

---

好きなことはいっぱいある。

やりたいこともいっぱいある。

でも苦手なこともいっぱいある。

ついていけない話題が多すぎるような気がする。

スポーツ、見るのもやるのもダメ。

映画、テレビ、見ようという気がない。昔から見てもこなかった。

音楽、音が鳴っているのが苦手。音楽を聴きながら、、、私には考えられない。

お酒、ダメ。本を読んでいて、今日は○○をいただくわ、なんて書いてあってもその雰囲気は理解不能！

犬とかネコ、そこにいる、ぐらいかなー。

こういうことじゃあないことが私は好き。

なかなかめんどくさいよね、私って。だからデートに誘われないんだ、わかってる。

すべてアマノジャクな答えしかできない。

やりたいことのひとつは恋だと言った私に

姉「あんた若いねー」



あんまり走らないこと。

---

これは、突っ走らないこととか、そんな教訓めいたことではないの。

そんな教訓は私には言えない。

すぐに突っ走るから。

ただ単純に「走らない」こと。

普段あんまり運動をしていなかったり、私みたいに全く運動と無縁の者は「走らない」方がいい。

それに走っても、歩いても、時間はほとんど変わらない。理由もなく足がもつれるしね。

元気にしていた友人もこの前は足をひきずっていた。

だんだんと故障は出てくるんだろうなー。

空港では車椅子を予約したと言っていた。

看護教員をしている知人は「ここをやったらもうダメよ！」と大腿部をポンポンと叩いた。

この年では、多くの人が治るのに時間を要した上に、杖が必要になるという。

若い人の骨は若竹のようだけれど、我々の骨はもう枯れた竹だものなー。

それに私は骨粗しょう症だし。

毎朝歩いて通勤していた同年代のカッコイイ彼女を最近見かけない。

お店で出会った時に聞いたら、歩きすぎてお尻のあたりが痛くなったので止めていると。

動かないのもダメ、動きすぎるのもダメ。

走らないように、ころばないようにすることだな。

## 私のまくらもとにあるもの

---

ベットには電気敷き毛布が敷いてあってポカポカ。  
これは家での居場所のない男の隠れ家のようなものかもなー。  
グータラ過ごすのに最高。

私のまくらもとにあるもの。

手首で測る血圧計。これは朝と寝る前に測って記録する。病院で見せるしもうほとんど習慣。  
時計。薬局で点数を集めて交換したもの。カチカチ音がしないなー、どうなってんだろ、気にしない。

デジタルで日付と温度まで出ている。何か意味あるのかしら。

水の入ったペットボトル。

睡眠剤。

精神安定剤。

ノート、シャーペン。

本3-4冊。

一番大切なもの、老眼鏡。

ちっとも眠くはないが、午前0時頃に睡眠剤を飲む。

うまく眠りに入れますよーに。。。

## 最後の卒業式は。。。その1

---

4人目の子供の高校卒業式。

あー、これで解放される。

同級生は10年も前から孫がいたりするもんね。

今は、子守が大変とかいいながら、ケータイの待ちうけ画面に孫の写真を入れたり。。

私は、まだまだ。

子育ての会計係として健在なのだ。

40代の母親が多い中、3日前に白髪を染め直した。

卒業式には妹からももらった淡いピンクのスーツに決めた。

小学校教師をしていた妹は、そのスーツはきっと新1年生を迎える入学式に着たものだろうね。

妹からは想像できない色だけど、還暦の私が着るのも、、、

でも、さわやかでいい感じ。チェリーピンクのロングピアスもピッタリ決まった。

よぼよぼの母親では息子がかわいそうだもん。

ビシッときめなくてはね。

それにしても、始まる前までは、みんなペチャクチャ、まあよくしゃべっていたなあ。

まわりを見渡すと、座席の中に三脚が4台立っていた。

へー、高校生になってもまだ我が子を写したいのか。。。。

そして、卒業生入場、拍手でお迎え下さい、の言葉と同時にいっせいにデジカメか、ビデオかが、いっせいに上がった。拍手どころではない。拍手をしているのは在校生だけ。

これからは、「卒業生が入場します、ビデオの準備はいいですか」の方がいいんじゃない？

その後も、いろんな場面でビデオが上がっていたなあ。

あれって、家に帰って家族で見たりするのかしら、気持ち悪り～

卒業生と保護者で写真を撮りますとか言っていたけど、冷えてお腹が痛かったので、さっさと抜け出して帰った。

集合写真なんか見たってしょうがないじゃない。

前は、よく写真なんか撮ってたけれど、今はほとんどデジカメだということがわかった。

## 最後の卒業式は。。。その2

---

卒業生は70人ほどで、アットホームな感じでよくまとまっていた。  
泣いている生徒もいっぱいいた、先生も泣いていた。

卒業生の歌も立派だった。

卒業生の答辞の中に、今の社会情勢にふれた部分があった。

不安定な中東情勢の問題、経済状況の悪さ、環境の問題、そういう不安定な先の見えにくい暗い社会に私たち卒業生は出ていきます、  
これからの後輩たちが安心できるような社会にしていきたいです、  
そういう言葉に、私は思わず涙が出てしまった。

私たち大人は何をしているんだ。

還暦は、団塊は、こんな不安を抱かせ高校を卒業させるのか。

しかも、後輩たちのことを思いやっている。

私の高校の卒業式は忘れもしない卒業式だった。

もう40年以上前だ。ベトナム戦争をしていた、沖縄はまだ日本ではなかった時代だ。

500人もいた卒業生。夕涼みのような長椅子に4人ずつ、ぎゅうぎゅうに座り名前を呼ばれたら返事をして立つ。

最後に卒業生総代が代表で卒業証書を壇上で受け取る。それは、わら半紙1シメ分ぐらいあった。  
突然、ゴトンゴトンという音。

何が起きたのかわかりやあしない。。。。

卒業証書が壇上から放り投げられたのだった。

なぜ私がこのような行動をとったのかお話します、という総代の発言はそこで止められた。

その後の式はメチャクチャの進行となった。

校長は準備していたであろう話は当然できないし、続く来賓もしどろもどろ、  
代弁者として来ていた人は、原稿を読むものの、場違いな中味でしらせるのみ。

在校生も原稿を読むのみ。

続いての卒業生の答辞、すごかったよ。生徒会長だったが、時に泣きながら話した。

原稿なんかそっちのけ。それどころではない状態となっているのだから。

自分たちで卒業式のなかみを考えさせて下さいと何回も頼んだ、今の社会情勢の中で何も考えずに

このまま卒業していったいいのか、ベトナムでは今も人が亡くなっている、、、と。

まだあった。でも興奮状態で、スゴイスゴイと思った。

私は自分自身の意識の低さを恥じ、会場は何度も大きな拍手がわいた。  
私も涙を流しつつ拍手をした。式をこわされたと怒る卒業生はいなかったと思う。  
何十人もが地元の国立大学に進学する高校だ。自由な中にも秩序はあったし、真面目だった。  
地元のテレビ局が高校の卒業式ということで撮影にきていて放映されたというオマケつきだった。  
。

教室に戻って、担任からこれから放り投げられた卒業証書を渡します、とまるで答案を返すように片手で渡され、片手で受け取った。担任の顔も名前も思い出せない。  
卒業式にイヤイヤ出席していた父は「実にいい卒業式じゃった」と人に言いまくっていた。  
全国各地で卒業式異変があったという年だった。

「卒業証書いりませ〜ん」という週刊誌の見出しはないよなと思った。大人にはそう見えたのかな？

2年後、70年安保だった。

でもな一、今日の卒業生の答辞を聞いていて、こんな先の見えない時代にしてしまった責任、やっぱりあるよね。

私たちの方が、ガキだったのかも、と想ったりもした。

あの時代の闘士たち、今どうしてる？

退職してソバを打ったりしてるんじゃないでしょうね。

卒業式が終わって。。。

---

謝恩会やらはとてもじゃないけど体力なし。

式の途中からは、冷えてお腹が痛くなり、早く帰りたかった。

夕方、留守電に入ってた電話。

おそらく最後の「電話連絡網」だな、午後7時から飲み会やりますと。

そうですか、おやすみなさい、、、

ホッとしたこともあってか、夕食はいいやということになった。

肉まんとか食べたいなーと思った時はもう9時を過ぎ、

どっかも店あいてないじゃん、ということになった。

あと2週間と少しで一人暮らしになる。

私は仕事に行ってるんだからご飯は息子が作ってくれるだろうと思い、

息子は、もうちょっとだから母のご飯を食べさせてくれるだろうと思い、

お互いの考えが違って、家の中でケータイのメールで、夕食どうする？なんて。

ずっとお姑さんと暮らしていた友人が家の建替で、借りる家は狭いので、その間お姑さんには別のところに住んでもらうことにしたそうだ。お姑さんのいないその生活は、何と気楽なこと、と。

あなた、いつもこんな気楽な生活してたの？

そうよ。大変ではあるけどね、全部が一人にかかってくるから。でも気楽。

また始まる一人暮らしもワクワクしてるの。

体調くずした。。。

---

やっぱりホットしたのかなあ。

末子の卒業式以来3日寝込んだ。

寒かったし、お腹も痛かったし、めずらしく熱まで出た。

バッファリンを買いに行って、静かに寝るが、本来頭痛持ち、早く効いて、、、と。

どうせ眠れない。頭が痛すぎ！

本を読んでまぎらわそう、薬局の帰りに図書館へ本を返し、又借りる。

だれかが言っていたなあ、活字の好きな人にとって本はバックグラウンドミュージックみたいなもの。

読んでいた本に、邪気は背中にたまると。そうだ、私はこのところずっと背中が痛かった。

邪気がたまってたんだなー。

水をたくさん飲みましょう、と書いてありすぐにペットボトルの水を飲むという単純な行為！

今度は動悸がしてくる。

どういう順番で薬を飲むか。降圧剤はのまないでだし。。。

こんなにしんどいのに眠気はやってこない。

いつものように午前0時には睡眠剤を飲む。

息子は夕食作るからと。

ハンバーグのクリームシチュー煮込みだった。息子は大好き。

おいしいね、ゴメン、あんまり食欲ない、やっとな半分と梅干。

遠慮がちに息子が差し出してきた大学生協入会のチラシ。

生協には入っていた方がいいよ、

入会にはいろんなパターンがある。

あっ、これは入ろうね、保護者死亡の場合10万円。そして授業料の上限38万円まで負担と。

事後死の場合は毎月10万円支給。

これは絶対だよ、今の私、それにすぎる思い。運転得意じゃないけど、この地では足だから。

よろしく願いますね。還暦の母なもんですから。